

映画の魅力を伝える！

架空（かくう）の映画のポスターをつくろう！

今回の課題では、架空（かくう）の映画の内容を考え、ポスターをデザインします。

映画のポスターには、

映画の内容や雰囲気（ふんいき）を一目で伝え、お客さんの興味や関心を引き出すという大切な役割があります。

ポスターを見た人に「この映画を観てみたい！」と思わせるような、映画の魅力（みりょく）が伝わるデザインを目指しましょう。

【今月の課題】

STEP1 架空（かくう）の映画の内容を考えよう！

STEP2 映画の魅力（みりょく）を伝えるデザインを考えよう！

STEP3 映画のポスターを魅力（みりょく）的に演出しよう！



著作権（ちょさくけん）を守ろう！



著作権法（ちょさくけんほう）という、
作品の「作者」を守るための法律（ほうりつ）があります。

「まんが」「アニメ」「小説」などの、
“だれかがすでにつくったキャラクターや
世界観をもとにしてかいたイラスト”は、
勝手に発表することができません。

また、だれかのイラストの「トレース（な
ぞりがき）」や「もしゃ（マネしてかくこと）」
を「自分で描きました」と発表することも
いけません。

実際に、賞をとった絵や漫画が、だれかの作品
の「マネ」だったことから、トラブルになった
こともあるよ。

「なぜ、他のひとの絵をマネして発表・販売」
することがダメなのか？一緒に考えてみよう。



童話や昔話などの「古い作品」は、
モチーフにつかえることがあるの
で先生に聞いてね。



STEP1 架空（かくう）の映画の内容を考えよう！

ポスターをデザインするために、映画の「テーマ」や「あらすじ」などを考えましょう。

アイデア例

テーマ

友情

ジャンル

ヒューマンドラマ

タイトル

アタムくんとわたし

登場人物・キャラクター

少女、絵が得意な未知の生き物（アタムくん）

見る人に伝えたい映画の魅力（みりょく）

- ・少女とアタムくんの純粋であたたかい友情
- ・観た人に「友達っていいな」と思ってもらいたい

あらすじ

絵がうまく描けないとなやんでいる少女のもとに、絵が得意な未知の生き物（アタムくん）がやってくる。
ふたりはともだちになり、一緒に絵を描くことの楽しさを知る。
最後はふたりで力を合わせてすてきな絵を完成させる。

見せ場

- ・ なやんでいる少女のもとに、アタムくんがやってきてふたりが出会うシーン
- ・ ふたりが力を合わせて楽しそうに大きな絵を描く、物語の後半の印象的なシーン

映画のテーマとジャンルを決めるヒント

同じジャンルであっても、扱うテーマがかわると描くイラストも変わってきます。

下の例を参考にして、自分の描きたいテーマやジャンルを決めましょう。



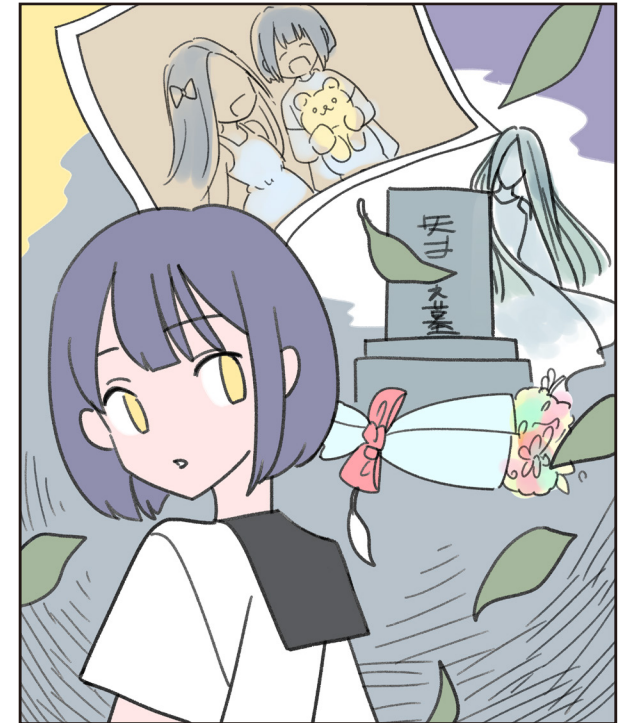
「友情」 × 「コメディ」

芸人を目指している男の子Aと音楽活動をしている男の子Bの友情ストーリー。AはBに芸人の相方になって欲しいが、BはAにバンドメンバーになって欲しい。そんな2人のドタバタすれ違いコメディ。



「お金」 × 「コメディ」

3億円の宝くじに当選した主人公。油断してお酒を飲み豪遊したところ、当たりくじを無くしてしまった！失われた記憶と3億円をめぐって繰り広げられるドキドキコメディ。



「友情」 × 「ホラー」

お母さんのお墓参りにやってきた主人公は、隣のお墓からずっとこちらを見ている幽霊の存在に気付く。お墓参りの帰りもずっとついてくる幽霊と主人公の、ちょっと怖いけど感動できる友情ストーリー。

STEP2 映画の魅力(みりょく)を伝えるデザインを考えよう!



映画に出てくる主要なキャラクターを中心に配置したアイデアです。キャラクターの性格や物語の中での役割が伝わるようデザインしています。



映画の見せ場となる「キャラクターの出会いのシーン」をベースに構成したアイデアです。

STEP1 の1 ページ目のアイデアを見ながら、左の絵を見てみましょう。
同じ映画でも、切り取りたい場面によって、こんなふうに表現が変わってきます。例にならって、ラフを2 案描いてみましょう。

ラフの段階で案を複数出して見比べることによって、最終的にイメージ通りのイラストに近づけやすくなります。



デザインのポイント① 絵と文字の組み合わせアイデア

ポスターは絵と文字の組み合わせで成立します。

ラフを描くときに、絵だけでなく文字の位置も含めてレイアウトを考えてみましょう。



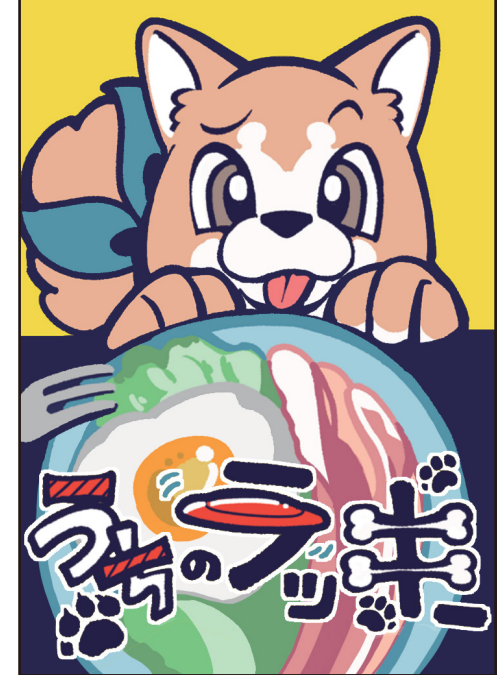
ロゴを上配置する



ロゴを中央配置する



ロゴをたてに配置する



ロゴを下配置する

レイアウトに悩んだらいくつか案を考えてみたり、
クラスの先生や友達に相談してみよう！



デザインのポイント② 世界観が伝わるロゴデザイン

ロゴデザインの工夫次第で、映画の世界をより伝えやすくなります。自分が考えた映画のアイデアからキーワードをピックアップして、文字のデザインに上手に取り入れてみましょう。



映画に登場するキャラクターが好きな「絵を描く」ための道具を使用したアイデアです。このデザインのポイントを3つ紹介します。

わたしたちの
おえかき記

- ①画用紙のようなテクスチャで手描き感を表現
- ②テーマにあったあたたかな色使い
- ③お絵描きの道具やお絵描きから連想するモチーフを取り入れたデザイン

デザインのポイント③ 映画のイメージを伝える配色 -1

構図や文字と絵の組み合わせの他にも、色の表現でも映画のイメージを伝えることができます。
伝えたいメッセージを色で表現するために、まずは、色の基本を学んでいきましょう。

色相（しきそう）

色の方向性を表すものを「色相（しきそう）」
といいます。
色相を順番に並べた輪（わ）のことを「色相
環（しきそうかん）」といいます。



彩度（さいど）

色のあざやかさの度合いのことを
「彩度（さいど）」といいます。
派手に見せたいときは彩度が高
い色、落ち着いた印象に見せたい
ときは彩度が低い色が適してい
ます。



低

高

明度（めいど）

色の明るさの度合いのことを
「明度（めいど）」といいます。
明度が高い色と低い色を組み合
わせると、目を引く配色になり
ます。



低

高

同系色（どうけいしょく）

色相環（しきそうかん）のなかで隣
り合う、似たもの同士の色です。
色がケンカせず、統一感（とういつ
かん）がうまれます。

補色（ほしょく）

色相環（しきそうかん）のなかで、
一番はなれた色同士のことです。
あざやかさ、にぎやかさがうまれます。



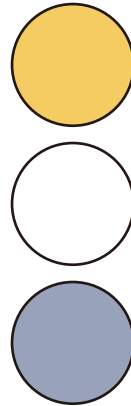
ほかにも「補色」は
あるかな？



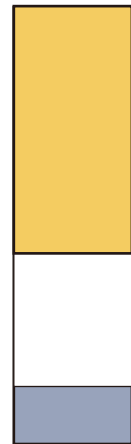
デザインのポイント③ 映画のイメージを伝える配色 -2



使った色



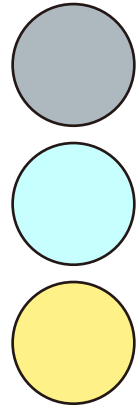
配色のバランス



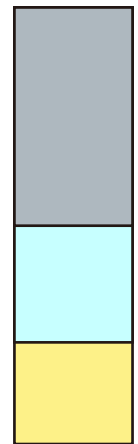
キャラクター同士の明るさや仲のよさを表すために、明るくポップであたたかな印象の色の組み合わせにしています。



使った色



配色のバランス



明暗の差が強い色の組み合わせを使用すると、印象的だったり、臨場感のある場面が表現できます。

STEP3 映画のポスターを魅力(みりょく)的に演出しよう!



STEP2 で考えたラフからひとつ選んで、ポスターを仕上げましょう。



仕上げるポイント

細かいところもしっかり描き込もう!

ラフをもとに細かい部分まで描き込み、キャラクターの存在感を際立たせています。

主役が誰かわかるように工夫してみよう!

主役とそうでない部分の描き込みの量や色に差をつけ、**見せたい部分を明確にすることにより**、イラストに込めたメッセージや主役が誰なのか伝わりやすくなる工夫をしています。

完成したポスターを見て感想を言い合おう



ポスターが完成したら、先生や友達に見せて、感想を言い合いましょう。

ポスターを見てどんな映画か言い当てるゲームをして自分の伝えたいことがきちんと他の人に伝わっているか、確かめてみるのも面白そうですね。

色の組み合わせや、ロゴのデザインについて学ぶことがおもしろかった♪

ポスターを見る人に、自分が伝えたいことがちゃんと伝わっているか、感想を聞けて参考になった！

「ほんとうにこんな映画があったら...」と、映画を観る人のことも想像しながら描くことが楽しかったし、新しい体験だった！

